

覚えているか
あの日の事を

胸に炎が灯った
あの日の事を



さあ
選択の時だ
ガルバトロン



我等との
取引に応じるか
.....

それとも

この世界で
朽ちていくのか.....
だぜ?



き、貴様らは我が
デストロンの兵士
ではないのか?!

それがこのワシに
取引だと! ふざけおって
スクラップにしてやろうか!



オイオイオイ
俺達は"宇宙海賊"
お前の部下じゃあ
ない

指図なんて
受けるかよって

応、そうとも!

それによオ.....
俺たちの知る未来じゃあ
アンタとくんに海の藻屑だ

そりゃあもう
情けねえ破壊大帝様
だったんだからなあ!



.....ぐツ



おのれ!
何故だ!
腹立たしい!



おのれ!
おのれ!
あの顔!!

しかし
あの力が無ければ
元の世界に戻れたと
してワシの死は
避けられぬ.....

だがこの世界に
残ったとて.....



前回
コンボイとガルバトロンは
謎の存在によって
異次元世界へと導かれ.....
そこでの危機を救う使命を
与えられた!

だがその使命を果たすことで
訪れる自身の死の運命をも
見せられたのだった!

その未来を見ても
世界を救う使命に殉ずると
決め、進化の力を与えられた
コンボイに対し、
ガルバトロンは.....

おまけに
この世界から還る
術すらもわからんと
きた! ふざけおって
.....!

何故コンボイに
あの星の力が与え
られてワシには
何も無いのだ!

お困りのようだな
ガルバトロン



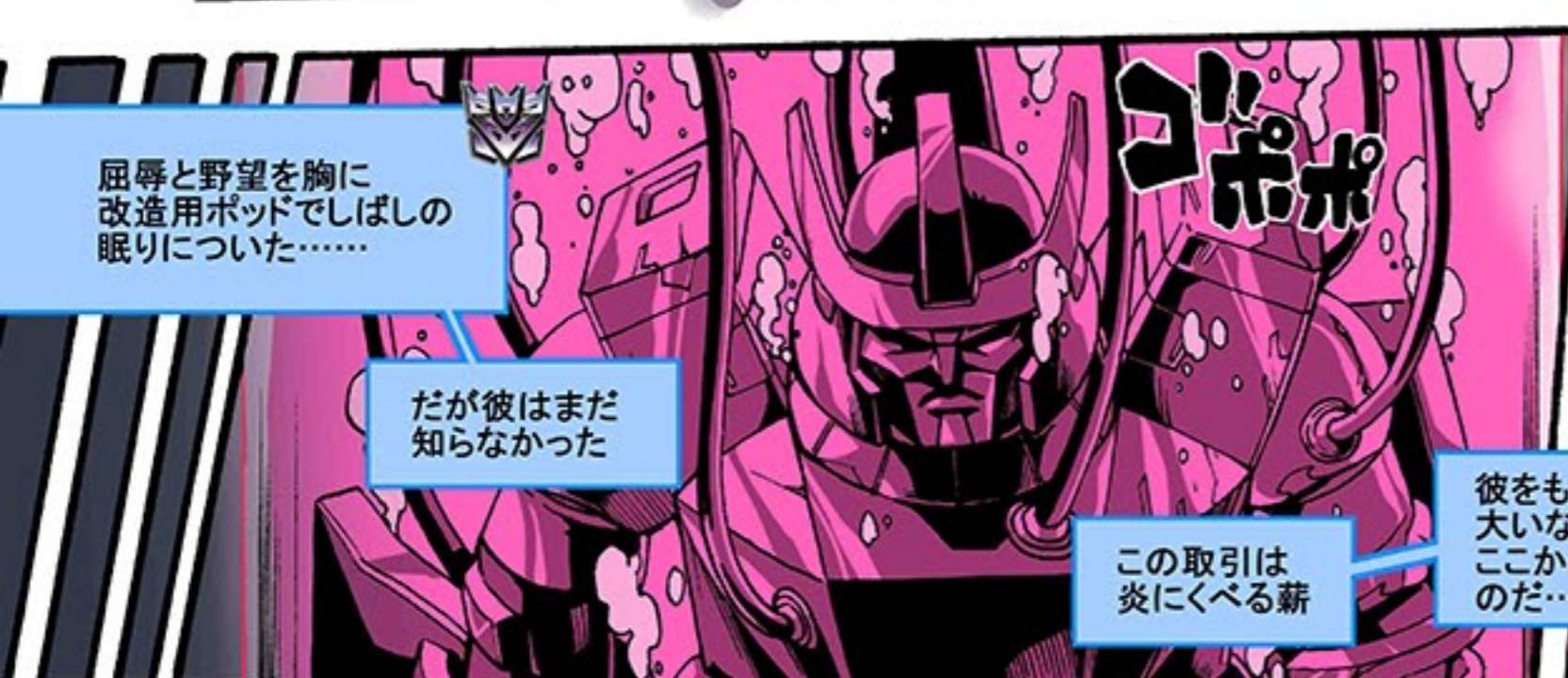
お前にもコンボイが
得た力をやろう

その代わり
.....



お前の中にある
アンゴルモアエネルギーを
いただく!

こうしてガルバトロンは
シーコンズとの取引に
応じる事となり.....



屈辱と野望を胸に
改造用ポッドでしばしの
眠りについた.....

だが彼はまだ
知らなかった

この取引は
炎にくべる薪

彼をも超える
大いなる野望の炎は
ここから燃え上がる
のだ.....!



お?
体の調子は
どうだ
同型(ブラザー)?



なアブラザー
俺アやっぱこの姿
好きじゃあねーんだわ

なんつーかよお
見下されてる
気分がするから
なア.....



けど安心しな.....
これからはお前が
見下す側になるんだ

アンゴルモア
エネルギーで
改造されたその体
でな

キングオブシーコンズ
タートラー!!



見下す?
そいつ気分が
良くねえよなあ

ブラザー
同型.....

もうそんな呼び方じゃ
失礼ってモンだな
祝福するぜえ
新たな"王"の誕生だ